

登校班の班長は責任重大！自覚と責任をもって！

子どもたちは、毎日班長さん、副班長さんの引率のもと、安全に気をつけて登校しています。

10名程度の班ではありますが、わがままを言わず、班員全員を安全に連れてくるということは、大人が思っている以上に大変なことのようです。

また班長の中には、班長としての自覚が弱く、他の班の子とふざけながら歩いているといった姿も一部に見られるため、指導を徹底しています。

ときどき、班のことで悩んだり愚痴をこぼしたりしている班長さんもあります。周りの大人がしっかりとそういった話を聞いてあげたり、応援してあげたりすることが大切だと思います。ご協力をお願いします。（集団登校時の主なきまりは、以下のとおりです。）



- ・ 班長が先頭、副班長が最後尾になり、二列で歩く。（雨天時は一列）
- ・ 道路を横断する際には、必ず各自自分の目で安全を確認してから渡る。
- ・ 明るく元気なあいさつをする。
- ・ ポケットに手を入れて歩かない。
- ・ 集合場所を出発してからは、忘れ物などを取りに帰らない。
- ・ 8時前に学校に到着することがないように集合場所を出発する。

地域ぐるみでの子ども見守りを！

学校では、登下校指導や学校内外の安全点検、不審者対策などを行い、子どもたちの安全確保に努めていますが、学校だけでは十分に対応できない現状があります。

子どもたちが犯罪被害や事故に遭う可能性が最も高い場所は、登下校時の通学路と下校後の自宅周辺です。

地域ぐるみで子どもたちの安全確保に協力していただき、安全に安心して生活できる環境づくりにご協力をお願いします。



遊びに行くときは

お子さんが遊びに行くときは、だれとどこへ行くのか、何時に帰るのかを子どもにきちんと確認しましょう。

また、子どもが一人でいるときに犯罪に巻き込まれるケースが多いことから、登下校時や外で遊ぶときには、できるだけ一人にならないよう指導してください。

危険な場所をチェック！

通学路は、道路の環境や交通事情が常に変化しており、少し見ないうちに道路工事が行われていたり歩道の草が伸びていたりして、大変危険な状態になっていることがあります。日頃から子どもたちが毎日利用する自宅周辺や通学路に危険がないか、お子さんと一緒に考えましょう。

地域の見守りを！

街角に立って子どもたちを見守っているという姿勢を見せることで子どもたちの注意が喚起されますし、子どもたちと元気にあいさつを交わすことで子どもたちとのコミュニケーションもとれます。そして、何よりも、不審者が子どもたちに近づくことができない状況になり、とても効果的です。

情報の共有を！

不審者や危険個所などの情報を学校や自治会、PTAなどが迅速かつ正確に共有し、連携した対応を取ることは非常に重要であり、事件や事故の解決に向けての対応に大きく影響します。特に、登下校時間帯や放課後に起きたことなど、学校だけでは知り得ない子どもたちの様子についての情報提供をお願いします。

サルが出没しました。ご注意を！

先週、登校してきた子ども達からサル出没の情報がたくさんありました。

近くの森に住むサルが、農作物や軒下に吊るしてある食物を食べるためにやってきているのだと思います。

地域の方の中で被害に遭われたという情報は今のところありませんが、サルに遭遇してしまった場合の適切な対応方法を書かせていただきましたので、家族の話し合いの中でご活用ください。



サルに遭遇してしまったら、次の点に注意しましょう。

- ★ サルの目をじっと見ない。(怒りを挑発させます。)
- ★ 背中を見せて走って逃げない。(ジリジリ後退する。)
- ★ 不用意に近づいたり、えさを与えたりしない。
- ★ 玄関や窓などを開けっ放しにしておかない。
- ★ 家の周りに食物などを置いておかない。

熱中症？が発生しました。ご注意を！！

8日（金）に本校でも体育の時間に熱中症の症状を訴えて保健室にやってきた児童が数名いました。夏の暑さに未だ体が慣れていないこの時期に、気温が高く、風がなく、湿度が高いといった熱中症になる条件が重なったためだと考えられます。

学校においても、教室の換気や適度な水分補給に配慮するとともに、とくに炎天下で活動する際には児童の健康状態に十分注意していきたいと考えています。

ご家庭におかれましても、水分補給に必要なお茶を持たせていただきますようお願いいたします。（学校では、水道水の飲用については勧めておりません。）

